



第64号 筑紫丘高校同窓会 福岡市南区野間2-13-1 〒815-0041 電話092(561)0662 F A X 092(561)0663 ホームページ http://www.chikushigakka-dousokai.com/ 印刷 西日本新聞印刷



同窓会HP [QRコード]

16年ぶり創立記念式典と講演会

OB教授が贈る

「未来への筑高生十訓」

本校の創立記念式典と記念講演会が昨年7月5日、本校講堂で行われた。本校は大正15(1926)年6月28日、文部省告示により開校認可が決定され、翌年4月に開校したことから、6月28日を創立記念日とし、創立記念式典や記念講演会、周年記念行事を実施してきた。



応援団の指揮による校歌斉唱で締めくくった創立記念式典

創立記念式典では、壇上に4人の本校管理職の先生方と同窓会会長が着席。厳粛な雰囲気の中、まず土本功校長により創立記念のあいさつと式辞が述べられた。続いて生田

征生同窓会長による式辞。最後に応援団の指揮で、全教職員、全生徒による校歌斉唱を元氣よく行った。

創立記念式典と記念講演会の組み合わせは16年ぶり。記録によると、平成14(2002)年6月に創立記念式典と第8代筑高同窓会長、有吉林之助氏の記念講演会が行われている。15年には創立記念式典とは別に創立記念行事として1、2年生対象のOB講演会を実施。翌年から社会人講演会に改称、現在に至っている。

記念講演会は、福岡教育大学教職大学院の芋生(いも)お修一特任教授(高28)が「未来に羽ばたく筑高生の十訓」という演題で行った。パワーポイントを駆使し、ご自身の生い立ちから筑高生時代の思い出、小学校教

諭、校長、教育委員会での活躍、読書の大切さなどを話した。最後に演題にある通り、筑高生に向けて次の10のメッセージを熱い口調で贈った。

- 一、教えることは学ぶことなり
- 一、周囲の人を信頼し心から愛せよ
- 一、自己を磨くことをためらうな
- 一、研究に没頭し内容で勝負せよ
- 一、大事を為すに細心であれ



講演する芋生・福教大特任教授

- 一、心の瑞々(みずみず)しさを失うことなかれ
 - 一、常に自らの足らざるを思え
 - 一、快活健康はリーダーの資本
 - 一、片時も感謝の念を忘るな
 - 一、謙虚さを失ったらリーダーを去れ
- 講演後、生徒会から謝辞と花束が贈られ、割れんばかりの拍手の中を退場した。(一ノ瀬泰宏教諭 高36)

新年あいさつ

会員情報把握で活性化を

会長 生田 征生(高15)



新しい年を迎えられ、健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年の干支はイノシシ。大きなエネルギーで未来に進んで行きたいものです。

今年、今上天皇のご退位で元号も変わりますが、92年目を迎える同窓会は百周年に向けて歩を進めて行きます。

去年も各地で甚大な自然災害が生じました。被災地の皆様には心からのお見舞いと、一日も早い復旧をお祈りいたします。

そんな中で同窓会活動は各地で力強く、また和やかに行われました。

地震や豪雨に見舞われた熊本・大分など九州の各支部や関西、首都圏支部の総会や就職応援活動、各回生、部活OB会、職域、女性会員の丘女(おかめ)会講演会、アンダーの会の集まりなど。

在校生・母校へは教育支援活動、校舎全面改築促進など

りで会員情報を収集していただき、同窓会から催しや総会の案内、母校の状況などの報告もしたいのです。整備機能を検討する委員会からの答申を期待しています。

校舎の全面改築については構想、基本設計と順調に進んでいます。在校生が良い教育環境で一層能力を磨き、世界に飛び出して活躍する人材になつてほしいものです。

今年も役員、常任幹事が心を合わせ、同窓会、母校の発展のため努力いたします。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



新年あいさつ

創立百周年へスタートの年

校長 土本 功



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

本校着任間もない昨年6月2日の同窓会定期総会・懇親会は平成最後の開催でありました。この平成最後の当番の高校41回の方々は、平成元年3月ご卒業で、平成最初の卒業生が平成最後の総会を盛大に成功裏に導いていただいた

ことに運命を感じるとともに深甚なる敬意を表すものです。さて、本年度は創立百周年に向かうスタートの年と位置づけしております。中でも同窓会をはじめ関係各位のご尽力により、現在、校舎全面改築に向けて基本設計に取り組んでおります。前年度の基本構想検討委員会における検討を基に、魅力あふれる教育環境を実現できますよう全身全霊を傾けて一同取り組んでおります。

県立高校全日制課程で最大の生徒数を誇る本校在校生の

「新しい時代にトライ!」



平成31年度総会実行委員長 長菅 隆義(高42)

あけましておめでとうございます。

私たち高校42回生は、昨年開催された平成30年度総会で青山崇徳実行委員長(高41)よりたすきを受け継ぎました。総会開催が近づくと、日々身の引き締まる思いで準備を進めております。

今年の総会は「平成」に代わる新元号での、第一回の開催となります。新しい時代の幕開けですが、まずはこれまで先輩方が築いてきた輝かしい歴史と伝統を紡ぎます。その上で母校の更なる発展に積

教育の質の低下を招かないよう、工期を複数回に分けて校舎を分棟方式で建設することになり、ご迷惑をおかけいたします。ご理解、ご協力を賜りたいと存じます。来たる2027年創立百周年記念式典の際は校舎竣工のお披露目ができることを私も心待ちにしております。

本年度は同窓会のご協力をいただきながら、恒例の社会人講演会(6月)、東京研修(8月)に加えて、7月には創立記念講演会を開催することができました。本校卒業生のご活躍が、在校生の勇気と意欲喚起につながっております。ご感謝申し上げます。新年のごあいさつといたします。

極的にトライしていきます。そういった思いを込めまして、今年のテーマは「筑高スクラム」とさせていただきます。創立100周年も迫ってきています。同窓生が一致団結して、新しい時代に向かってスクラムを組めるような総会を目指します。

定期総会は6月1日(土)17時30分から、ホテルニューオータニ博多4階鶴の間で開催いたします。たくさんの方さまとお会いでき、一緒にスクラムを組んでいただくことを楽しみにしております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

母校の姿を

ドローン映像に



平成30年度総会実行委員長 青山 崇徳(高41)

母校の創立百周年に向けて残り10年のスタートとなつた平成30年度同窓会定期総会が6月2日、ホテルニューオータニ博多で開催されました。平成最後の卒業生である我々高41回生が当番幹事となり、121人が会の進行をアシストしました。「つむぐ」のテーマのもと、850人にお集まりいただきました。懇親会では恒例の賀寿式典、筑高体操、応援歌、校歌斉唱に加え、改築工事が始まる母校の今の姿をドローン映像でご覧いただきました。本当にありがとうございました。

母校の発展を祈念し寄贈

英国展出品の水彩画

講師 桐生 真紀(高37)

このたびは本校校長先生より、計画中の母校新校舎のために作品展示のお声掛けをいただき、玄関に絵を寄贈する運びとなりました。

本校在学中に、美術に係わって生きていきたいと思います。その原点である母校に作品を飾っていただけるとは嬉しいことです。このような場をご配慮くださった土本校長先生はじめ、19年前、初めて母校の教壇に立たせていただきまして以来、これまでお世話になってきた多く

の方々へ感謝の気持ちを新たにしています。2007年に、ロンドンで初めての個展をした際、現地の画家から世界で最も古い水彩画の王立協会であるRoyal Watercolour Societyへの出品を勧められ、12年にDavid Gluck Memorial Award(記念大賞)を頂いたのを機に毎年出品。17年にはPro Arte賞。寄贈いたしました作品は18年のものです。母校ますますの発展を心よりお祈り申し上げます。



桐生さん(中央)の作品寄贈を喜ぶ土本校長(左から2人目)ら学校幹部

生徒への励ましに、また校内の文化的な雰囲気づくりの一助にと、約10年前より校舎2、3階渡り廊下などに授業の生徒作品を掲示しています。(テーマのひとつは「平和の大切さ」)ご来校の折にはぜひ後輩生徒たちの感受性豊かな作品をご覧いただければ幸いです。

信州総文祭出品作も揭示

3年 八尋 楓さん

昨年8月、長野県で開催された全国高校総合文化祭「信州総文祭」美術・工芸部門に県代表として出品した3年八尋楓さんの作品も本校の玄関ホールに飾られている。八尋さんは「こんな大きな大会に出るのも、大きい絵を描くことも今回が初めて。予想以上に時間がかかり、間に合うのか不安でしたが、こうして評価してもらい、本当に嬉しく思っています。これからも精進していきたいと思っています」と喜んでい



県代表の作品を出品した八尋楓さん

東京研修

みずほ銀行頭取が激励講話

本年度の東京研修は昨年8月1日〜3日の日程で実施された。参加したのは2年の124人(男子70人、女子54人)。1日目は福岡空港を8時に出発し、都内大学研修(9コース)、大学生との交流会(2日目は企業・つくば研修(6コース)、社会人との交流会(3日目は東京大学研修が実施

社会人講演会

後輩たちと素敵な時間

パイロット 小川圭介(高41) はじめまして、私は高41回生の小川圭介と申します。高校時代は硬式テニス部に所属し、現在48歳3児の父親。某国内航空会社でボーイング787型機機長兼飛行操縦教官として働いております。今回は私が参加させていただいた「筑紫丘高校 社会人講演会」についてお話しさせていただきます。



講演する小川圭介機長

この社会人講演会は、毎年され、その後帰福した。参加者が感激したのは、高校32回生のみずほ銀行頭取、藤原弘治さんが、分単位のスケジュールの中をホテルに立ち寄り、後輩たちに激励の講話をしてくれたこと。藤原さんは①社会の課題に関心を持って。自分の視点とは異なるユニバーサルな視点を得よ。②世界を見よ。海外で刺激を受けよ。③迷ったとき苦しいときに頼れる仲間を大切に。感謝を忘れるな。など、強

調。校歌に刻まれた「剛健・叡智・創造」について「これからの世の中でも必要なマインドだ」と締めくくった。この企画で藤原さんと生徒をつないでくれたのは同じ32回生の荒牧祐司教諭。メガバンクと交渉し、最終的に本人に動いてもらったという。後輩のために労を惜しまず」という2人の強い思いが実現に結び付いた。(町居慎一郎教諭)

高28回生還暦修学旅行

水野 宏

還暦という節目に、記念してもう一度、修学旅行をすることにしました。それぞれの人生で仕事の上でもプライベートの上でもある節目を乗り越えて、これからの人生に弾みをつけるためにも、もう一度、修学旅行をしたいと思いました。

行き先は、全国から集まりやすいということで関西に絞り、奈良に落ち着きました。しかし、還暦とはいえ、ほとんどが現役で働いており、多くは集まれませんでした。途中で帰る人、参加する人もいて13人でした。



筑紫丘高校同窓会

現地集合、現地解散の1泊2日で、貸切バスでの観光。初日は近鉄奈良駅集合、興福寺(南円堂・両国第九番)、塔の茶屋での昼食、春日大社、奈良国立博物館、東大寺南大門、春日ホテル宿泊。

119人が参加 第35回関西支部総会・親睦の集い

第35回関西支部総会・親睦の集いが昨年10月21日、大阪新阪急ホテルで開催されました。今年は初参加18人を含む119人が集いました。写真親睦の集いでは恒例となった席替えシャッフル、テーブル対抗筑高クイズに加え、初めて採用した人名ビンゴゲームで世代を超えた交流を深め



「来てくれた人を楽しんでもらう」を合言葉にした幹事にご協力くださった来賓の方々、支部会員の皆さん、幹事学年を中心としたビジターの皆さん、景品を提供いただいた皆さん、応援団OBの皆さん、本当にありがとうございます。興奮が冷めやらぬまま、75人が二次会に突入しました。関西支部では、アンダー(50歳以下の若手)の会、みのりの会(幹事学年以降の会)、筑友会(ゴルフコンペ)に加え、今年初となる新大生歓迎ボウリング大会を開催しました。それらの模様や会員登録は関西支部HPに掲載しています。ぜひアクセスください。http://gakokansai.net/ (堤 一弘 高32)

ザ・部活

ラグビー部

創部以来初の東京遠征

ラグビー部は昨年7月27日、創部以来初の東京遠征を実施しました。縁のある國學院久我山と早稲田実業との試合を通してチームを強化するためです。

國學院久我山は本校が初めて花園出場を果たした1979年の第59回全国高校ラグビー大会1回戦の相手。試合は4-24で敗戦。そのときファーストジャージを着た



れなかったことも当時の選手は心残りだったそうです。39年ぶりにファーストジャージで挑んだリベンジマッチ。写真IIは24-56で負けましたが、当時のOBをはじめ、多数来ていただき、ラグビー部にとって至福の時間でした。

夜は現役部員とOBの懇親会。現役部員は社会の第一線で活躍されるOBの話の聞いて、ラグビー部への帰属意識

を強めることができました。ラグビー部の歴史とOBとの「つながり」を改めて実感した3日間でした。

多額の費用がかかりましたが、全国のOBの方々からの寄付で実現できました。遠征中には差し入れを、試合後には選手の疲労を残さないためにアイスバスを準備していただくなど、様々な面で支援をいただきました。貴重な経験をさせていただいたOBの方々に心から感謝します。

(中村 健一郎 教諭 高60)

野球部

創部90周年祝

本校野球部は学校設立と同時に創部されました。平成30年卒業生まででOB会員は767名を数えます(マネジャー・物故者含む)。甲子園出場こそ実現していませんものの、夏の大会では決勝・準決勝を含め福岡県大会にもたびたび進出するなど、まさに文武両道を体現しています。

OB会では創部90周年事業として、現役部員への記念品贈呈、OB会員名簿作成、記念祝賀会を開催しました。

祝賀会は昨年2月11日、福岡市内のホテルで校長・同窓会長ら来賓9人、OB62人と多数のご参加をいただきました。長年監督としてご指導いただいた山田慎介先生、江濱義博先生(高33)に思い出を語っていただくインタビュー、元応援団長の伊藤徹雄同窓会副会長(高



山田先生と県大会準決勝まで進んだメンバー(高42)ら

現役時代は練習がきつ、上下関係も厳しい部でしたが、現在はOB会の世代を越えて思い出話や母校のことなど楽しく語り合っています。50年続いている11月開催の福岡市内8校OB野球大会(修猷館・博多工・福岡工・香椎・福翔・西南学院・福大大濠・筑紫丘)でも一緒にプレイし交流を深めています。

(野球部OB会長 山口幸之助 高28)

ハンドボール部

OBから横断幕とボール寄付

ハンドボール部恒例のOB戦が昨年8月21日、開催されました。例年お盆の時期に多くのOBが集まり、現役生との交流試合を行っています。

本年も最年長は高37回の岩瀬さん、最年少は大学1年と30人近いOBが集まり、照り付ける太陽の下で白熱の試合を行いました。

この日の懇親会の席上、OBから「現役生に何か支援できないだろうか」と提案があ

り、一同の総意で横断幕とボールの寄付が決まりました。後日届けられた、紫をベースとした横断幕には、「百錬千磨」という言葉が入っていました。ボールも六球購入でき、現役生たちの喜びの表情は輝きに満ちたものでした。

創部から40年以上。「いつかはインターハイ」を後輩たちに託しながら、OBができる応援を今後も続けていけることを願ってやみません。

(前川 健太 高49)



寄付された横断幕とボールを手にした部員たち

吹奏楽部

筑高サウンド華やかに

吹奏楽部第49回定期演奏会が昨年8月11日、アクロス福岡シンフォニーホールで行われました。現役部員76人によるI部クラシックステージ、ダンスやパフォーマンスもふんだんに取り入れたII部の企画ステージに続くOBステージでは、50人を超すOBも加わって日本を代表する作曲家の作品を演奏しました。

指揮をしたのは昨年同様、高校27回生で元九州交響楽団コントラバス奏者の吉浦勝喜

さん。世代を超えた120人以上の大編成による華やかで壮大な筑高サウンドを響かせました。

これに先立ち6月16日に

大運動会

70時間挟んだ感動

大運動会運営委員長 2年4組 飯干 晃紀

昨年9月8日に実施された筑高大運動会は、雨による70時間の中断を経て11日、無事大成功で幕を閉じた。

8日、開始前から雨が降り始め、全てのプログラムはできないかもしれないと先生からの情報。それを聞いたブロッコリーたちの悔しそうな表情を、大運動会を始めた。

雨。今後どうするかの話し合い。3年生が熱い思いを主張した。筑高体操とフィナーレのみを実施し、タンピングや応援合戦などは



後日へ延期でまとまった。水たまりが一面に広がったグラウンドでの筑高体操。男子たちが体を地面に着けるたび観客はどよめいた。写真。その後の全校生徒による全身

「織彩」を紡いだ

翔丘祭運営委員長 3年 松永 祐磨

第71回翔丘祭は昨年5月11、12の2日間行われた。11日は校内行事、12日は一般公開。今年のテーマは「織彩」。

筑高生の個性(彩)や伝統が混じり合う(織) たった一つの色彩(織彩)をつくりたい、という願いが込められた。短い準備期間や新しいことへの挑戦といった困難な壁が立ちふさがり、涙をみせたときもあった。私自身も3カ月間に、思うようにいかない

全霊のフィナーレは圧巻で見る人の心を動かす素晴らしいものだった。11日は快晴。生徒は丘の上で躍動した。白ブロッコリーの優勝。この2日間で臨機応変な対応や意思の伝え方、仲間の大切さなどいろいろなことを改めて学ぶことができた。



第27回 筑中・筑高ゴルフコンペ

藤田利孝さん優勝

第27回筑中・筑高ゴルフコンペが昨年10月10日、筑紫ヶ丘ゴルフクラブで開かれ、119人が参加しました。

7月の豪雨の影響で西コースが使用できず、南北2コースでの開催に。心配された雨もそれほど降らず、全員無事にラウンドを終了しました。表彰式前には昨年「レッスンオブザ・イヤー大賞」を受賞された高校16回生の篠塚武久さんによる特別レッスンが開かれました。

- 主な成績は次の通り。
- ① 藤田 利孝(高48)
 - ② 石内 鉄二(高21)
 - ③ 小出 征生(高8)

700人出席の

首都圏同窓会

支部長連絡会で報告

同窓会定期総会開催前の昨年6月2日午後3時から各支部の支部長が集まり、支部長連絡会が開かれた。

首都圏支部からは、一昨年の首都圏同窓会が700人の出席者で盛況だったことが報告された。

丘女会イベント

国連職員の隈元さん講演

丘女会の第6回イベント「卒業生による講演会」が昨年6月16日、母校講堂で開かれ、270人が参加した。講師は国連職員の隈元美穂子さん(高40)＝写真。10数年にもわたり、世界をまたにかけるエネルギッシュな仕事内容を語った。初めての講堂開催とあって多くの在校生も聴講した。



「漠然としか知らなかった国連についてよく知ることができた」「国連職員にチャレンジしたいと思った」などたくさんの方が声を聞かれた。これからの進路を決める生徒にもいい刺激を与えてもらえたようだ。

丘女会 広報委員会より

広報誌「OKAME STYLE」の創刊から1年がたち、今回第3号を発行いたします。

さまざまな分野で活躍されている、筑紫丘高校女子卒業生をご紹介します。広報誌。高校時代の思い出を通して、当時の考えが今の生き方にどう影響したのか楽しくお話をお聞かせしております。取材を重ねるたびに感動することばかりで、多くの在校生や同窓生にこの感動をお届けしたいと、毎回制作に励んでおります。お話を頂いた方からも「自分の今までの振り返りができて、原点に戻れそう」「同じ校舎で学んだものとして、在校生に少しでも何かを伝えられたらいいですね」という感想をいただいております。これからも続々と素敵な丘女達をご紹介します予定で。

年1度のイベント企画。今回は2019年10月26日(土)午後1時から本校講堂で、OBによるアンサンブル演奏会、歌人松村由利子さん(高31)の講演会を予定しております。多くの皆様のご来場をお待ちしております。
(丘女会広報委員長 小川 訓名 高36)

福岡市の元高校教諭江浜明徳さん(68)高21)が「新装改訂版 九州の戦争遺跡」を出版した。福岡連隊と西部軍司令部跡(福岡市)や大村飛行場掩体壕跡(長崎県大村市)など、明治から戦後の米軍占領期までの軍事的建造物、慰霊碑、銃撃跡など戦争に係る117カ所を取り上げ

た。戦争の記憶が薄れる中で「物言わぬ戦争の証言者」をコソコソと訪ね歩いた労作だ。江浜さんは1950年、久留米市生まれ。戦災を受けた久留米は戦前「軍都」と呼ばれるほど軍事施設があちこちにあった。引越してきた福岡市にも米軍基地、米軍ハウスが残っていた。子どものと

学は可能という。同市南区と中央区にまたがる鴻巣山陸軍石砲も収録した。戦時中、旧陸軍が丘陵を接収射撃場などに使った。境界を示すために「陸軍用地」と刻んで設置。確認できるのは6基。ウォーキングコース沿いなので容易に見つけられる。音楽学校出身の特攻隊員が弾いて出撃していったという「月光の夏のピアノ」(佐賀県鳥栖市)など旧版と一部重複する箇所もあるが、ほとんどが新たな掲載だ。

本校では郷土研究部で活動してきた江浜さんは「元々郷土の歴史に興味があった。教員になった後も郷土の戦争・平和について調査研究を続け、集大成として二回にわたり出版した。戦争遺跡を見て平和の尊さを感じてほしい」と話している。

336頁。遺跡ごとに写真と地図、アクセスが添えられており、誰でも目的地に行けるように工夫されている。海鳥社(福岡市)。1800円。

「新装改訂版 九州の戦争遺跡」出版

元 郷土研究部 江浜明徳さん(高21)



本を手にする江浜さん

博多区の額縁店内防空壕など117カ所

その最初の成果が2012年に出版した「九州の戦争遺跡」。軍艦島(長崎市)や人間魚雷回天を製造した川南造船所跡(佐賀県伊万里市)など117カ所を調査・撮影し収録した。大きな反響と貴重な意見・情報が寄せられたことから続編へ向けた新たな調査を決意。さらに約6年かけて九州各地に足を延ばし、新装改訂版に収録した。

福岡市博多区大博町の立石額縁店内防空壕もその一つ。終戦の1年前に店舗の地下に掘ったもので約4平方メートルの広さ。1945年6月19日の福岡大空襲の際には家族3人が逃げ込み、助かった。今は埋まった箇所もあり、小学生1人が入れるほどだが、見

昨年8月4日、太宰府市の九州国立博物館で「全国高校歴史学フォーラム2018」が開催された。北は福島から南は大分まで、全国から選ばれた10校がそれぞれのテーマで調査研究した成果を発表する舞台に、私も参加した。

自宅がある大野城市を含む筑紫地区には1300年以上前、唐と新羅の侵攻に備えた防衛施設「水城」が築かれた。太平洋戦争中には博多湾からの連合軍上陸を想定し、多くの旧日本軍部隊が駐屯していた。現在も航空自衛隊の基地や陸上自衛隊の駐屯地がある。自分の足元が古代から防

衛上の要衝であり続けたことに興味を持ち、調査を始めた。地元の教育委員会と話を聞き、旧日本軍の資料を取り寄せ読み解いていった。福岡城跡にあった西部軍司令部が大战末期に移転した筑紫野市の地下壕も訪ねた。博多湾からの距離、山や丘といった地理的条件を生かして防衛ラインを築いていた背景が徐々に浮かび上がった。

九州防衛を担っていたのが、1500年も離れた東北の部隊だったことも知った。終戦直後に撮影された兵士の集合写真を、古い資料の中に見つけた。明日の命さえ約束されていない日々が終わり、故郷に帰られる喜びが表情にあふれていた。どこか遠い存在だった戦争、兵士を身近に感じた瞬間だった。

「幻の水城」を探る

全国高校歴史学フォーラムで発表

郷土研究部 3年2組 大塚 奏さん

当日は古代の水城と連合軍の九州上陸が起らなかったことにちなみ「幻の水城」を探る」と題して発表した。多くの方が私のポスターの前で足を止めて読み、未熟な解説を聞いてくださった。教科書には載っていない史実を探る醍醐味を味わい、高校生活の集大成として将来に続く体験ができた。

指導してくださった久我純一先生、筑紫丘OGで福岡大学文学部研究員の西幸子さん(高60)に心から感謝したい。貴重な経験を、これからの糧にしていきたい。

私は「自由な発想。行動力。粘り強さ。多様な個性を受け入れられる器」と考えた。皆さんはいかがお考えですか？

福岡銀行同窓会を初開催

「筑高体操」の余興も

橋詰 拓(高42)



盛り上がった初開催の福銀同窓会

福岡銀行に在籍する卒業生が初めて集う「筑紫丘高校福岡同窓会」を昨年10月20日、福岡市の福新楼で開催いたしました。

母校は昨年、2027年の創立100周年に向けての新たな10年として高校41回生が当番学年として定期総会などの運営に当たってきましたが、輝かしい歴史を持つ母校に在籍した誇りを社内在籍の卒業生で共有しつつ、100周年に向けての気運醸成へ協力しよう」と企画しました。

土曜日にもかかわらず、29回生から66回生までの男女計77名が駆けつけ、世代を超えて大いに盛り上がりました。余興として「筑高体操」が有志により披露され、あたかも高校時代にタイムスリップした光景となりました。

銀同窓会」を昨年10月20日、福岡市の福新楼で開催いたしました。母校は昨年、2027年の創立100周年に向けての新たな10年として高校41回生が当番学年として定期総会などの運営に当たってきましたが、輝かしい歴史を持つ母校に在籍した誇りを社内在籍の卒業生で共有しつつ、100周年に向けての気運醸成へ協力しよう」と企画しました。

「愛校心」というものは、卒業後ある年月を経て芽生えるものかもしれない。事実、卒業後30年で幹事学年が回ってきて、忘れていた筑紫丘高校への想いが蘇る。この「筑高魂」を抱き、人生の後半戦を楽しんで生きていこう。(山口恵津子 高41)

宴座

今年度の同窓会幹事学年である41回生に「筑高魂」をどう考えるか聞いてみた。「普段はテキトーでも、やる時はピシッとやるメリハリの良さ」と、まとまりの良さ。「揺るぎない母校愛。揺るぎない後輩愛。揺るぎない筑高体操愛」やり遂げる力。たとえ本人が望んでいないことでも、役目を与えられた時に全うすること。そしてそれをも楽しむことができる。「ハイレベルなカオス」「振り返れば自由」「節度をわきまえた不良」という回答があった。